

輝くふるさと鳥羽を目指して

鳥羽市長 木田久圭一



新年明けましておめでとうございます。
市民のみなさまにとりまして、本年が幸せ多い年となりますようにお祈りいたします。

昨年は、アメリカのサブプライムローン問題に端を発した経済不況が全世界の実体経済に影響を及ぼすという予想だにしない事態となった一年でありました。今年はこの不況を乗り越えて、再び日本社会が元氣を取り戻すことを期待したいと思います。

市長就任以来3年8か月が過ぎましたが、この間プラス志向で市政運営に取り組み、ふるさと鳥羽が市民に愛され、自信を持っていただける市になるよう努めてまいりました。

財政再建も一応の成果を上げていると考えています。市の職員数は大きく減少しましたが、少数精鋭、職員は市民サービスの向上に向け頑張っているところです。

新しい年は人口減少に対応するため、子育て支援や教育にさらに力を入れ、鳥羽市独自の新たな政策を実行すべき年になると思います。年明け早々、鳥羽市にとって10年ぶりとなる新築の学校である鳥羽小学校がスタートします。その他の学校や保育所についても、早期に新築や耐震補強を行って安心安全の環境をこどもたちに提供していきたいと思えます。

佐田浜周辺におきましては、二隻目の高速船「かがやき」が4月には就航する予定です。また、新しいターミナルビルの建設に向け、さまざまなアイデアを出して取り組んで行きたいと思えます。

その他の事業につきましても、市民のみなさまにとって必要な事業は強気に押し進めていきます。今後のご協力をお願い申し上げます。年頭のごあいさついたします。

穏やかな

かがや
海に耀く

初日の出

鳥羽市議会議員 竹内 久



市民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。
希望に満ちた輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は鳥羽市行政放送の開始に伴い、行政チャンネルとばが開局しました。

市議会としましては、9月定例会から市議会の情報提供の場として活用させていただき、本会議の模様を、映像を通してご提供できたものと思っています。

家族でお茶の間から気軽に市議会を傍聴していただけるように、市民に身近な議会を目指していきたいと思えますので、みなさまがケーブルテレビに加入していただければ幸いです。

本年も市民の視点に立った信頼される開かれた議会であるように、また、市民のみなさまが市政に関心を高めていただけるよう、市議会としましては、さらに努力していきます。

わたくしたち16人の議員は、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、市民のみなさまのご期待に沿えるように決意を新たにしています。

ここに、みなさまのご多幸をお祈りし、本市の発展のために、本年も相変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

謹賀新年